



2025年2月12日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン第39回定期中央委員会

2025春闘、参院選・静岡市議選の勝利をめざした活動方針を確立

JR東海ユニオンは2月6日、豊橋市内で第39回定期中央委員会を開催し、2025春季生活闘争方針や組織内候補を擁立する静岡市議会議員選挙（駿河区）の取り組みをはじめとする当面の活動方針を決定した。JR連合からは住吉一家労働政策局長が参加した。

尾内裕昭中央執行委員長（JR連合副会長）は、2024年度上期の取り組みを振り返るとともに、「安全の確立」「組織の活性化」「ハートフルカンパニーの実現と2025春季生活闘争」「政治・政策課題」など、当面の活動に対する考えを明らかにした、そして、「変革の時代にある今こそブレることなく活動を前進させ、大きな成果を結実させるためにONEチームで突き進もう」と訴えた。

来賓には、7月に施行される参議院議員選挙に立候補を予定している、JR連合国会議員懇談会の榛葉賀津也会長、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムに所属する浜野喜史議員、田村まみ議員や小澤まさひと



尾内中央執行委員長



榛葉会長

牧野よしなお氏

議員が出席し、連帯のあいさつを受けた。また、静岡市議会議員選挙に駿河区から立候補を予定している「牧野よしなお」氏からは、必勝に向けた力強い決意表明と支援のお願いが訴えられた。

JR連合から参加した住吉労働政策局長は、安全確立の取り組みや2025春闘の取り組みについて、JR連合の方針を説明するとともに、「2025春季生活闘争と参議院議員選挙・静岡市議会議員選挙の勝利をめざしてONE TEAMで取り組んでほしい」と呼びかけた。

議事では、執行部から「標準乗数4とした定期昇給の年度初完全実施」「純ベア12,000円を含む月例賃金総額4%以上の改善」「夏季手当3.1カ月」などを柱とする2025春季生活闘争方針をはじめ、組織の活性化やハートフルカンパニーの実現、参議院議員選挙や静岡市議会議員選挙の取り組みなどを盛り込んだ当面の活動方針案が提起された。これに対して19名の中央委員が質疑に立ち、「安全の確立」「組織強化・拡大」「会社提案事項に対する対応」「静岡市議会議員選挙の取り組み」「2025春季生活闘争」など、幅広い意見が寄せられた。特に、静岡市議選の取り組みにおいては、JR東海ユニオンとしては初のJR採用者を組織内候補として擁立することを踏まえ、各委員から多くの激励・エールが送られるとともに、勝利に向けた決意が表明された。

その後、執行部答弁、今井孝治書記長（JR連合執行委員）の総括答弁を経て、全議案が満場一致で採択された。

JR連合は、2025春季生活闘争にかかる情報の提供・共有等の側面支援を行うとともに、政治や行政と向き合って賃上げができる基盤整備に取り組み、加盟単組とONE TEAMでもっと賃上げ・生活改善に向けて取り組んでいく。

